

定期テスト対策プリント（資料の整理）

1 右の表は、30人の生徒が受けた5点満点の小テストの結果である。

【知識・理解 4点×3】

点数	0	1	2	3	4	5	計
人数	3	4	6	8	7	2	30

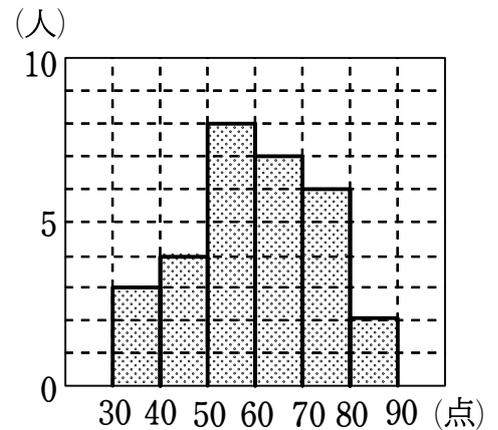
(1) 得点の平均値を求めなさい。

(2) 得点の中央値を求めなさい。

(3) 得点の最頻値を求めなさい。

2 右の図は、あるクラスにおける数学のテストの点数をヒストグラムに表したものである。

【知識・理解 4点×3】



(1) このクラスの人数を求めなさい。

(2) 点数の平均値を求めなさい。

(3) 点数の最頻値を求めなさい。

3 右の表は、生徒60人の通学時間について調べた結果を相対度数で表したものである。

【知識・理解 4点×2】

階級 (分)	相対度数
0 以上 10 未満	0.10
10 ~ 20	0.40
20 ~ 30	0.35
30 ~ 40	0.15
計	1.00

(1) 通学時間の短い方から数えて40番目の生徒が入っている階級の階級値を求めなさい。

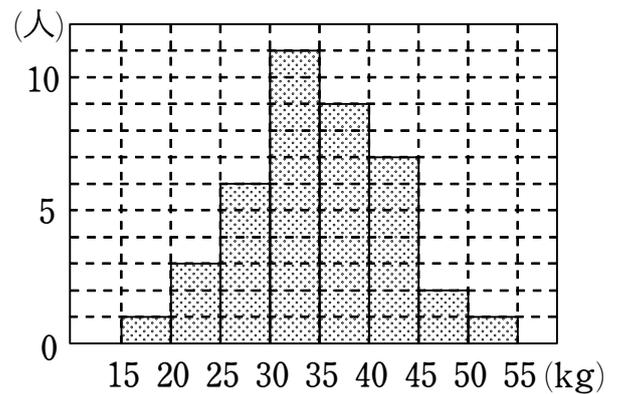
(2) 通学時間の長い方から数えて40番目の生徒が入っている階級の階級値を求めなさい。

定期テスト対策プリント（資料の整理）

- 4 右の図は、中学生 40 人の握力について調べ、その結果をヒストグラムに表したものである。

【知識・理解 4点×2】

- (1) 記録の高い方から数えて 12 番目の記録が入っている階級の階級値を求めなさい。



- (2) 記録の低い方から数えて 13 番目の記録が入っている階級の相対度数を求めなさい。

- 5 右の表は、生徒 200 人の垂直とびの記録について、各階級の相対度数を求めて表にまとめたものである。次の問いに答えなさい。

【数学的な見方や考え方 4点×2】

- (1) 記録が 30 cm 以上 40 cm 未満の生徒は何人いるか求めなさい。

階級 (cm)	度数 (人)
20 以上 30 未満	0.02
30 ~ 40	0.16
40 ~ 50	0.44
50 ~ 60	0.35
60 ~ 70	0.03
計	1.00

- (2) 記録が 50 cm 以上 70 cm 未満の生徒は何人いるか求めなさい。

定期テスト対策プリント（資料の整理）

6 次の資料は、ある野球チームの 20 試合の得点である。

3	5	2	4	6	6	2	0	3	1
5	2	9	1	5	7	6	4	5	8

(単位は点)

【数学的な技能 4点×3】

- (1) 1 試合あたりの得点の平均値を求めなさい。
- (2) 得点の中央値を求めなさい。
- (3) 得点の最頻値を求めなさい。

7 ある数 a , b を、小数第 2 位を四捨五入して近似値で表したところ、次のような値になりました。このとき、 a , b の真の値の範囲を、それぞれ不等号を使って表しなさい。

【数学的な技能 4点×2】

- (1) $a = 2.6$
- (2) $b = 10.0$

8 次の数を、 $a \times 10^n$ または $a \times \frac{1}{10^n}$ (a は整数の部分が 1 けたの数, n は自然数) の形で表しなさい。

【数学的な技能 4点×4】

- (1) 8300 (有効数字は 8, 3)
- (2) 94000 (有効数字は 9, 4, 0)
- (3) 0.0652 (有効数字は 6, 5, 2)
- (4) 0.00415 (有効数字は 4, 1, 5)

定期テスト対策プリント（資料の整理）

9 小数第3位を四捨五入して得られた近似値が7.24になる数について、次の問いに答えなさい。

【数学的な技能 4点×2】

(1) 真の値 a の範囲を求めなさい。

(2) 真の値 a と近似値との誤差を e とするとき、 e の範囲を不等式で表しなさい。

10 次の近似値の有効数字が()内のけた数であるとき、それぞれの近似値を、整数の部分が1けたの数と、10の累乗との積の形で表しなさい。

【数学的な技能 4点×2】

(1) 630 m (2けた)

(2) 47000 m² (3けた)